

2020年9月期 第2四半期 決算説明資料



株式会社ツナググループ・ホールディングス
(証券コード 6551)

2020年5月28日

①	第2四半期連結決算概要	P. 3
②	第2四半期連結業績	P. 6
③	第2四半期セグメント別実績および連結業績予想	P.10
④	成長戦略の進捗	P.19
⑤	Appendix	P.26

① 第2四半期連結決算概要

2020年9月期第2四半期 決算概要



上半期は、19年7月に子会社化したユメックス株式会社の業績寄与もあり、52.6%の増収となった。また、ユメックス社の影響を除いた売上増加率でも、+9.6%となった。損益面では、広告宣伝や、増員によるオフィス移転等の成長投資に加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響により、減益となった。

(百万円)

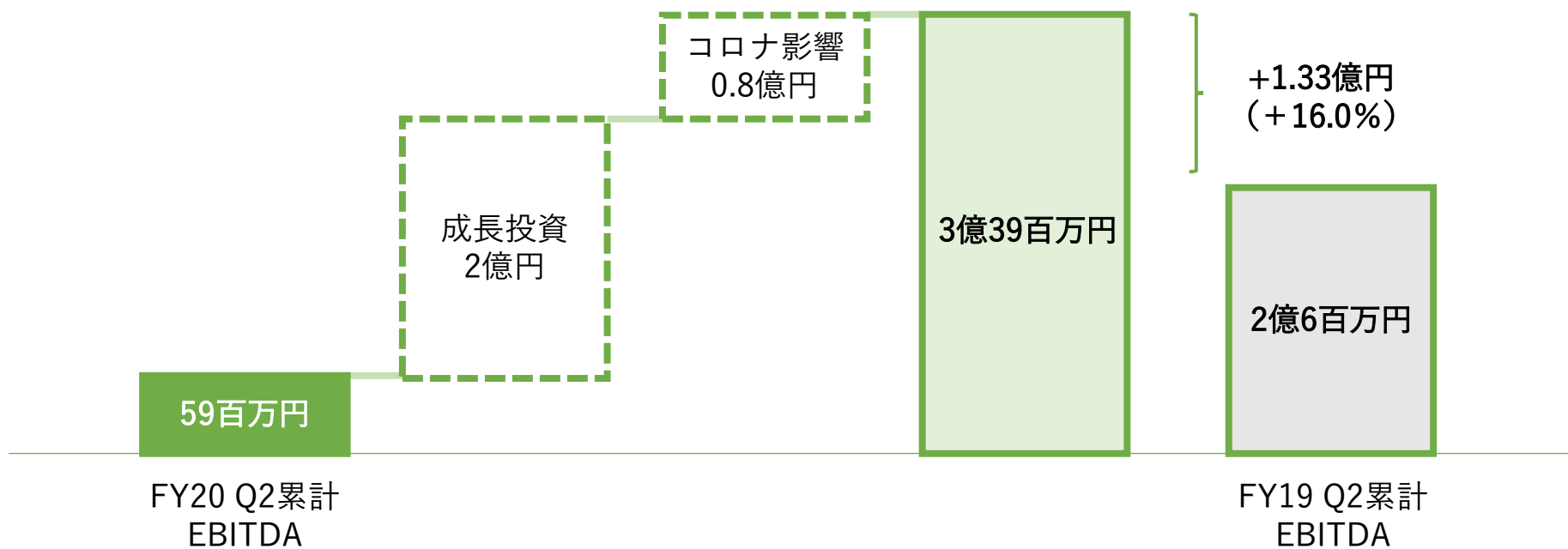
	FY20 Q2累計	FY19 Q2累計	対前年同期比 (増減額)
売上高	6,966	4,565	+ 52.6%
原価	3,585	2,668	+ 34.4%
売上総利益	3,381	1,897	+ 78.2%
営業損益	▲170	85	(▲255)
経常損益	▲174	90	(▲264)
EBITDA*	59	206	(▲147)

* 調整後EBITDA…営業損益 + 減価償却費及びのれん償却費

2020年9月期第2四半期 決算概要



上半期の成長投資（CM・オフィス 約2億円）、新型コロナウイルス感染症影響（約0.8億円）を除いた EBITDAは3億39百万円となり、事業成長は継続していると考えている。



② 第2四半期連結業績

採用市場におけるインフラ企業を目指す

シゴトを探す人、スタッフを募集する企業などに取り巻くあらゆる“不”を解消し、誰もが無意識に、安心して、シゴトが見つけれられ、採用できる世の中を創りたいと考えています。



研修&定着（離職防止）

人材派遣&人材紹介

企業・店長

採用メディア&マッチングサービス

働くヒト

RPO（採用業務アウトソーシング）

連結損益計算書サマリー

■ 大幅な増収。広告宣伝費、地代家賃、のれん他償却費等の販管費増により減益。

(百万円)

	FY20 Q2累計	FY19 Q2累計	対前年同期比 (増減額)
売上高	6,966	4,565	+ 52.6%
原価	3,585	2,668	+ 34.4%
売上総利益	3,381	1,897	+ 78.2%
販管費合計	3,551	1,812	+ 96.0%
人件費	1,616	846	+ 91.0%
広告宣伝費	760	387	+ 96.2%
地代家賃	174	81	+ 115.1%
支払手数料	54	36	+ 50.6%
システム費用	69	35	+ 92.8%
償却費	186	83	+ 122.2%
その他販管費	689	340	+ 102.3%
営業損益	▲170	85	(▲255)
経常損益	▲174	90	(▲264)
EBITDA*	59	206	(▲147)

※当期純利益等については決算短信でご確認ください

連結貸借対照表サマリー

■ 総資産は、▲1億26百万円の減少。広告投資、オフィス移転等の影響。

(百万円)

	20年3月末	19年9月末	増減
流動資産	2,942	3,107	▲164
固定資産	3,011	2,973	37
資産計	5,954	6,080	▲126
流動負債	2,935	2,750	185
固定負債	1,916	1,999	▲83
負債合計	4,852	4,750	101
純資産計	1,101	1,329	▲228
負債・純資産計	5,954	6,080	▲126

③ 第2四半期セグメント別実績
および連結業績予想

セグメント構成

HRマネジメント事業

RPOサービス、業務代行
離職防止、外国人採用

(株)ツナグ・ソリューションズ
(株)テガラミル
(株)アセゴニア

メディア&テクノロジー事業

セグメントメディア、HR-TECH、
トータルソリューション

(株)インディバル
ユメックス(株)
(株)ツナググループ・マーケティング
レグルス・テクノロジーズ(株)

スタッフィング事業

人材派遣・人材紹介、
派遣センター、コンビニ運営

(株)スタープランニング
(株)スタッフサポーター
(株)チャンスクリエイター
(株)ヒトタス、(株)倉庫人材派遣センター

- ✓ RPOサービスは、引き続き大手自動車メーカーの採用抑制により減収
- ✓ 新卒RPOサービスは前年比2.1倍の増収
- ✓ 離職防止サービスも前年比1.6倍、外国人採用サービスは同1.4倍となった

(百万円)

	FY20 Q2累計	FY19 Q2累計	前年同期比
売上高	1,923	1,980	▲2.8%
セグメント損益	24	▲178	(+202)

● 新型コロナウイルスの影響 (セグメント損益影響 ▲10百万円)

RPOサービスへの影響は、当該四半期においては限定的

新卒RPOサービス・外国人採用サービスでは、マッチングイベントの中止／延期が発生

- ✓ ユメックス社の業績寄与を除いても増収
- ✓ 『ショットワークス コンビニ』TV-CM効果により利用店舗数・応募数が大幅に増加
- ✓ 広告宣伝・オフィス移転等の成長投資により、減益

(百万円)

	FY20 Q2累計	FY19 Q2累計	前年同期比
売上高	3,711	1,588	+133.7%
セグメント損益	▲91	263	(▲354)

● 新型コロナウイルスの影響 (セグメント損益影響 ▲55百万円)

短期単発案件 (主に倉庫内軽作業やイベント設営、デモンストレーション販売など) や、自動車メーカーが採用抑制をおこなった結果、出稿量が大幅に減少した

スタッフィング事業

- ✓ コンビニ領域の新店売上寄与により、増収
- ✓ 派遣・紹介領域では、すきま時間ニーズにより日々紹介事業が順調に進捗
- ✓ 派遣センターは、売上は堅調に推移したものの、システム強化により減益

(百万円)

	FY20 Q2累計	FY19 Q2累計	前年同期比
売上高	1,684	1,157	+ 45.5%
セグメント損益	▲75	▲14	(▲61)

● 新型コロナウイルスの影響（セグメント損益影響 ▲15百万円）

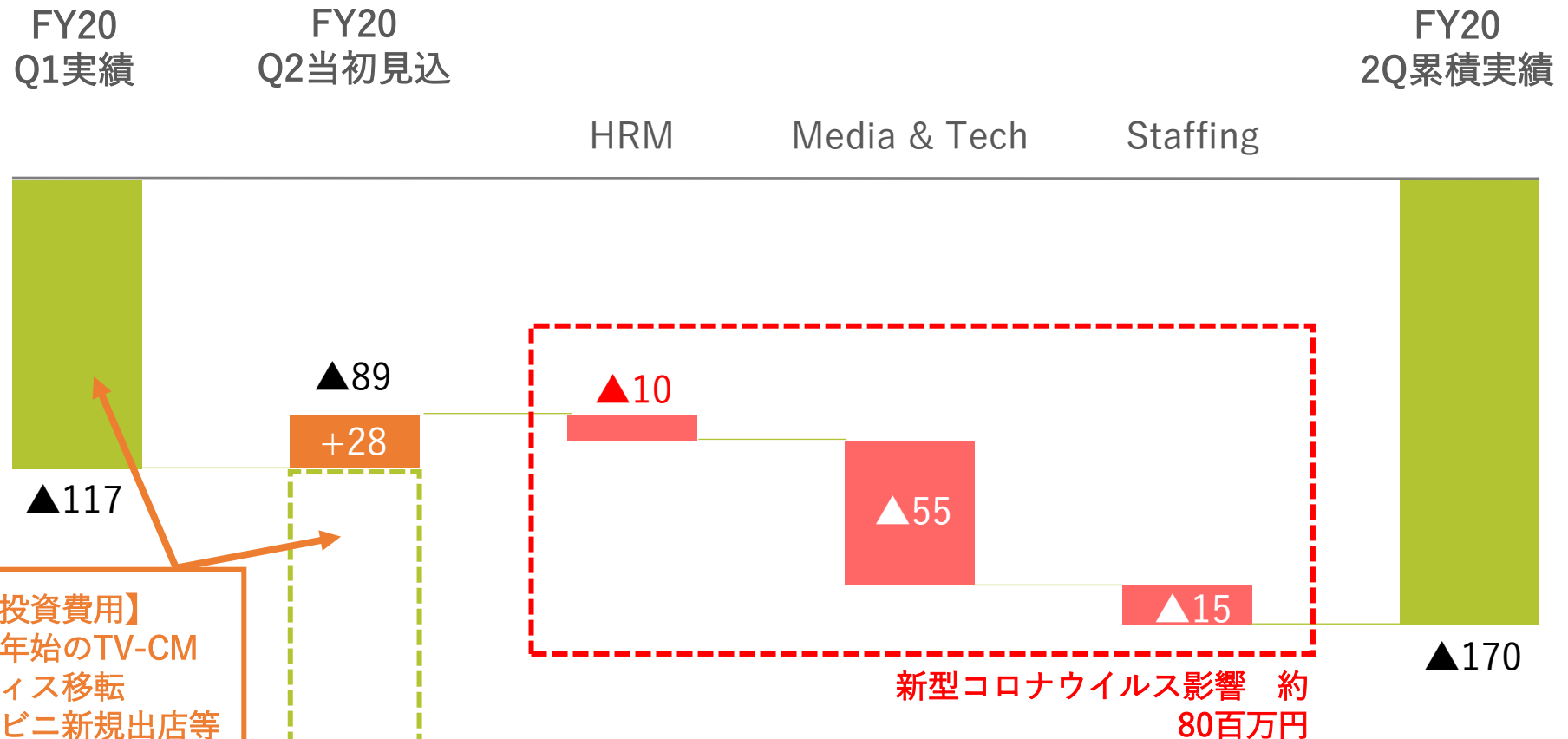
派遣案件（イベント関連や引越し、旅館等の観光関連）の消失や減少
 コンビニ領域では、インバウンド観光客の減少により、主に商業地や観光地での客数が大きく減少した

当第2四半期累計期間における新型コロナウイルス影響

営業損益

当初予想と実績の差分は、ほぼ新型コロナウイルス影響。

(百万円)



【戦略投資費用】

- ・ 年末年始のTV-CM
 - ・ オフィス移転
 - ・ コンビニ新規出店等
- 計2億円超

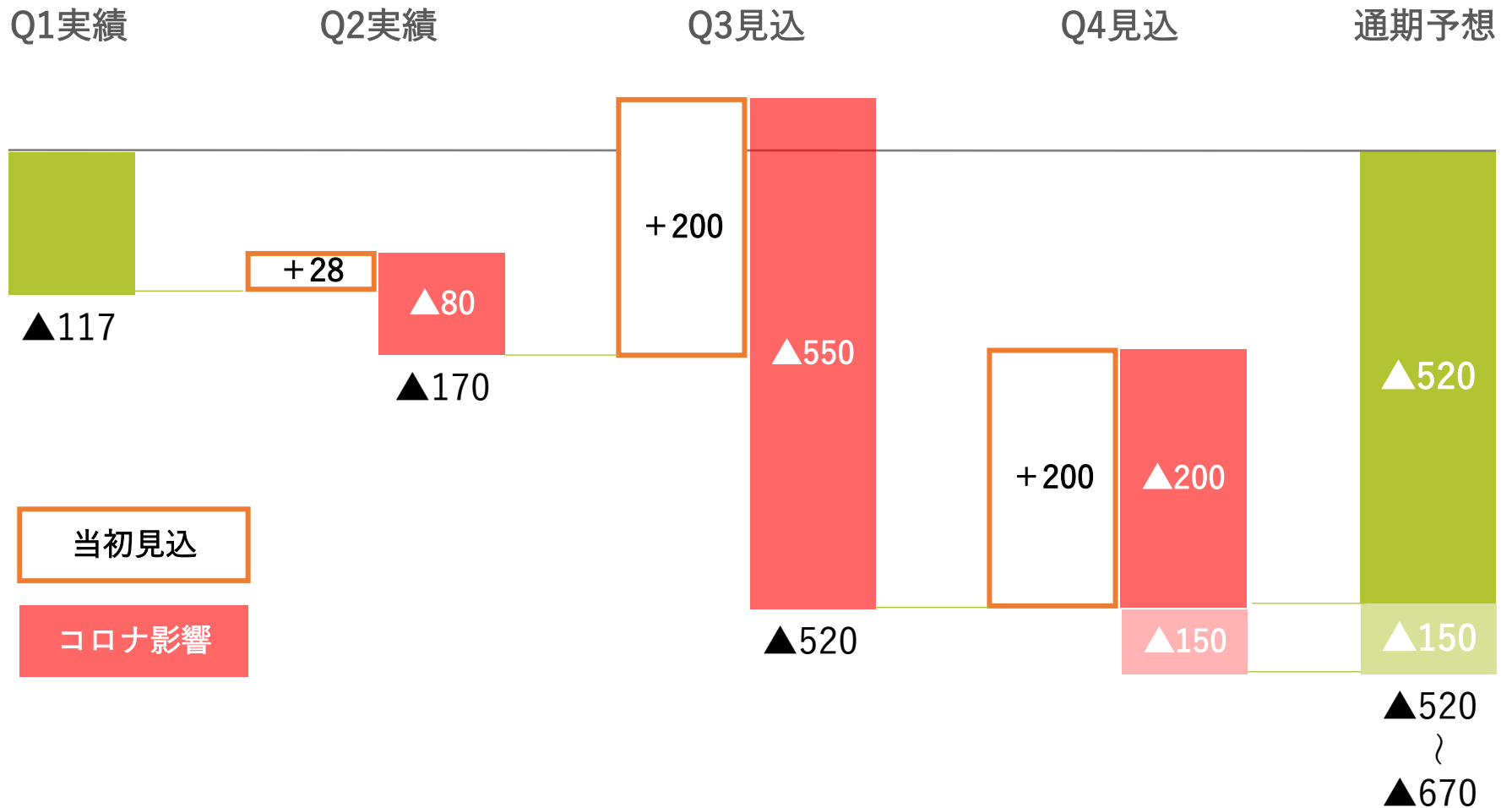
当期業績に対する施策

- ✓ サービスのオンライン実施（RPO、採用イベント）
- ✓ 在宅勤務・テレワーク対応、定着化に向けたオフィス面積の縮小を推進
今年度中に、全24拠点中6拠点をクローズ予定
- ✓ グループ会社間異動による成長分野への人材リソースの再配置
加えて、ワークシェアなどを通じた休業制度の適用
- ✓ テレワーク対応のためのIT投資とトレードオフでの
各種経費削減（通勤費、業務交通費、交際費、光熱費、備品費等）
- ✓ 役員報酬10%減額、執行役員報酬5%減額

当期業績予想について

営業損益

当初見込みに新型コロナウイルス影響を反映し通期予想をシミュレーション (百万円)



2020年9月期 連結業績予想の修正及び配当予想の修正

今期の通期業績予想は、新型コロナウイルス感染症拡大の収束時期や経済活動の動向など、現時点では見通しが困難なため、レンジ形式で開示いたします。

なお、期末配当予想につきましては、未定とさせていただきます。

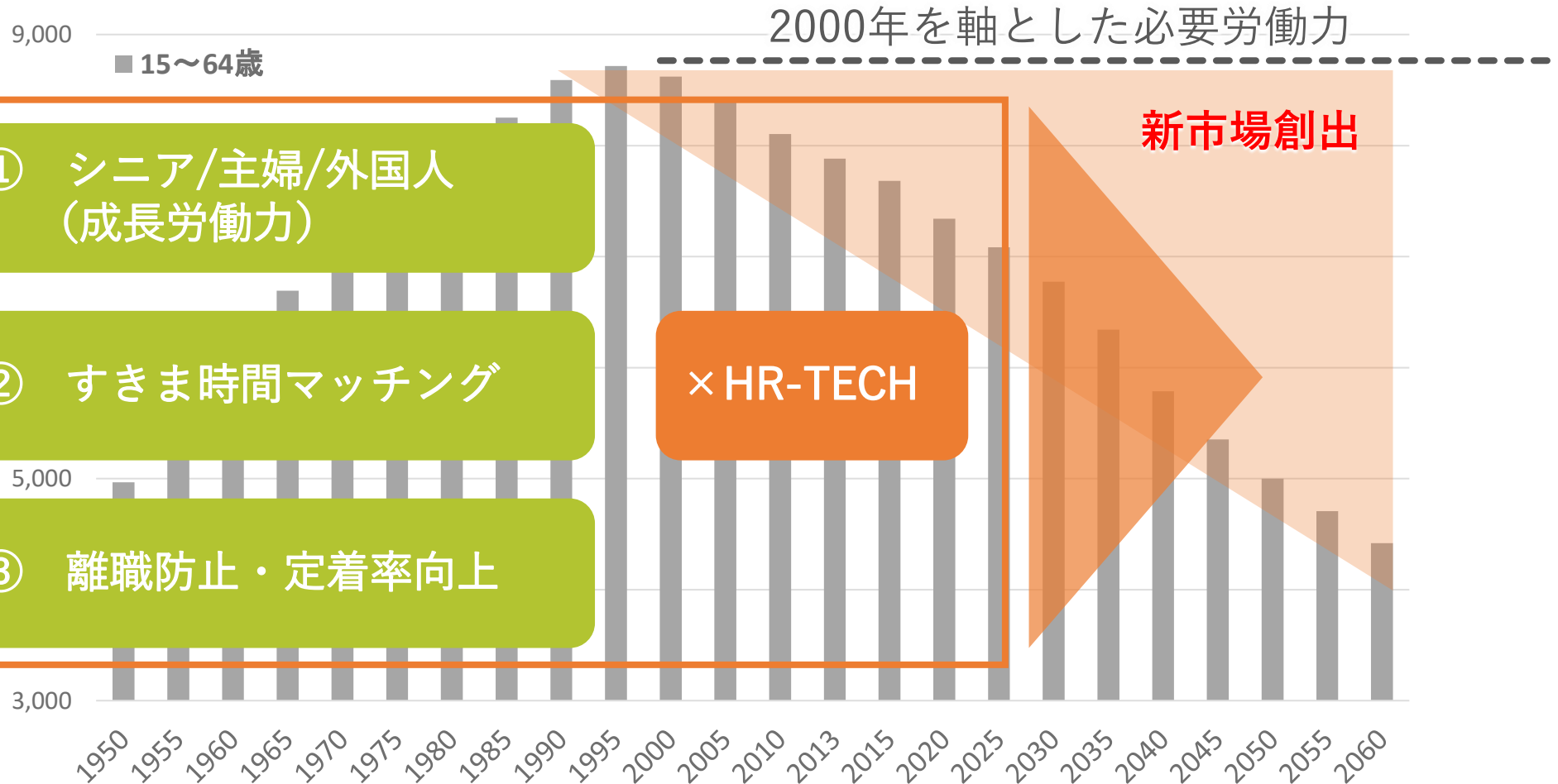
(百万円)

	FY20		FY19	YoY	
	業績予想	当初予想	実績	業績予想	当初予想
売上高	13,000～13,500	16,000	10,617	122.4%～127.1%	150.7%
EBITDA	▲231～▲81	700	535		130.8%
年間配当金 (円)	未定	4.00	2.00		

④ 成長戦略の進捗

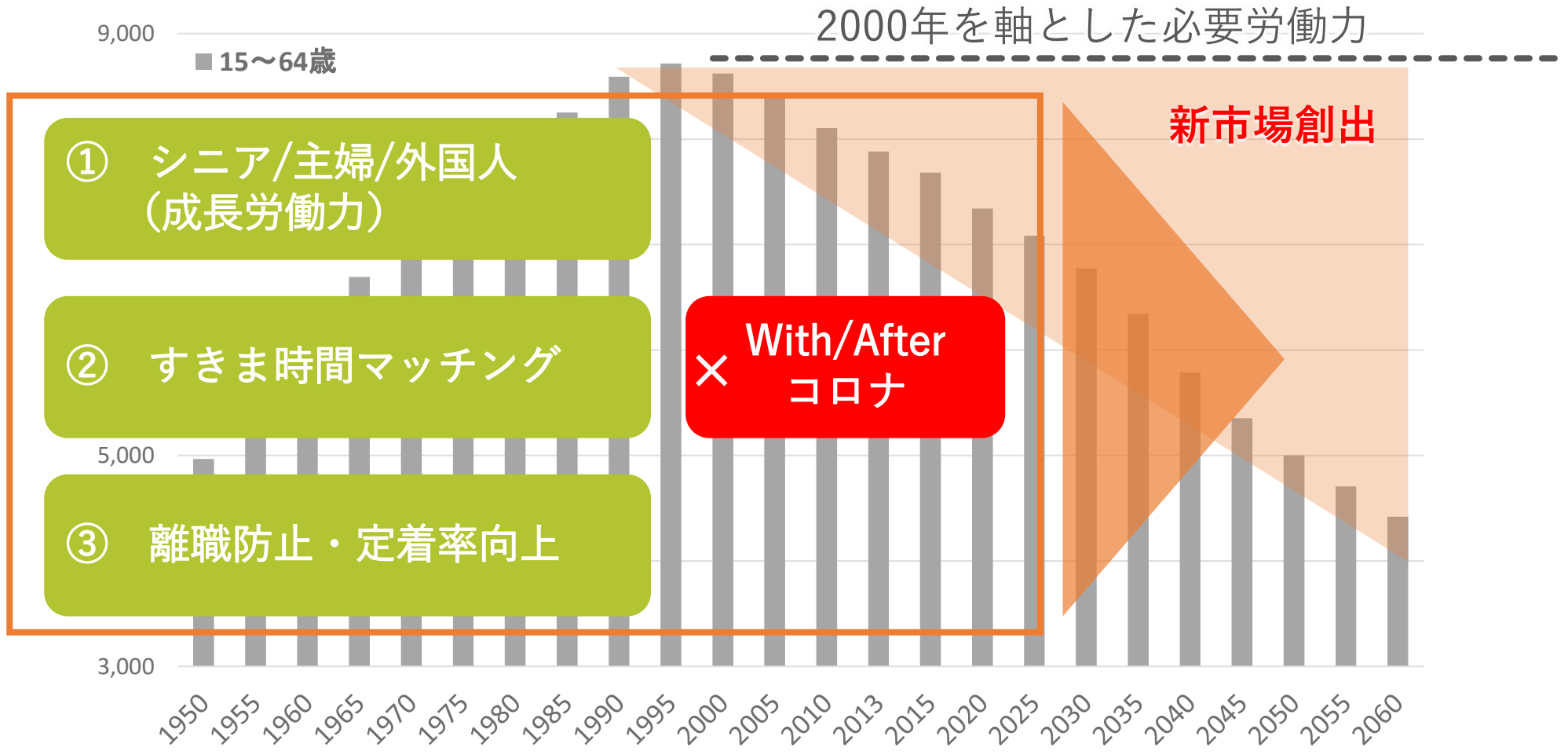
現成長戦略

■ 今後の労働市場を鑑みた成長戦略は引き続き推進

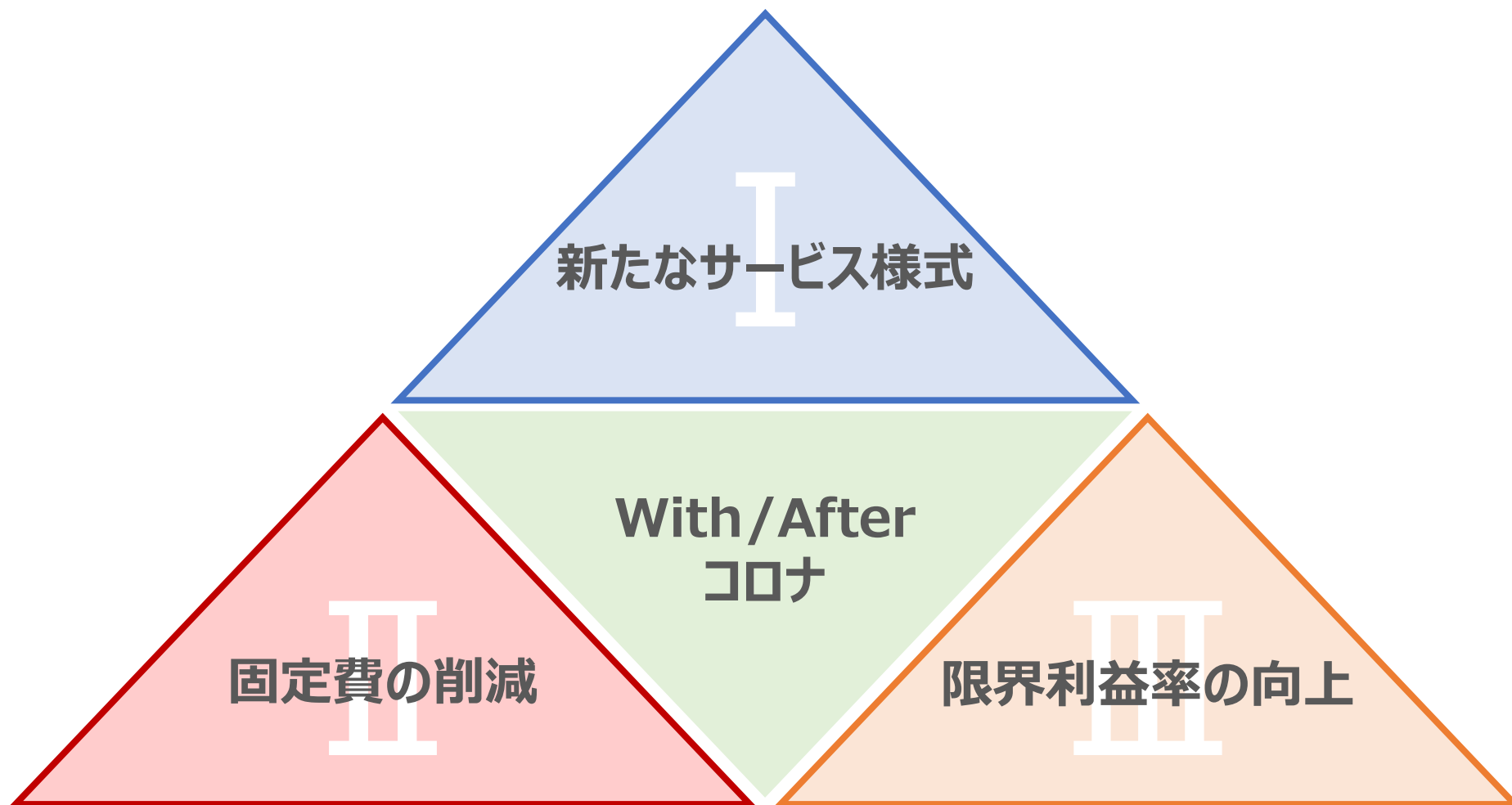


With/After コロナにおける成長戦略

■ 成長戦略実現にあたっては、With/After コロナありきでの推進が必要



- 戦略推進にあたっては、3つの軸での構造変容が必要と考える



With/After コロナにおける成長戦略

I. 各成長戦略領域に対して、新たな様式でのサービス展開

「成長労働力」採用業務の オンライン化

Web面接システムなどを活用し、新卒や、在日外国人求職者向けの採用イベントをオンライン化。

面接会場への移動や交通費負担がないことから、実開催と比較して大幅に出席率が改善するなど、実開催の代替ではなく、それ以上の価値も見出されつつある。



派遣会社をはじめとした、複雑な業務 プロセスの自動化による効率改善提案



従来の業務をIT化、RPAやAI技術などを活用した定型業務の自動化・業務改善による生産性の向上を支援。
採用業務のみに留まらず、最適なスタッフ管理プロセスの構築・オンライン化により、導入企業の働き方改革や高付加価値業務への集中を実現。

With/After コロナにおける成長戦略

I. 各成長戦略領域に対して、新たな様式でのサービス展開

「すきま時間」もコロナ下で伸びる デリバリー業界に注力

デリバリー職種に特化し、1日単位で募集が可能な「ショットワークス デリバリー」を運営。

「出前館」と連携し、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりアルバイトが困難な都内学生の就業を支援中。

「出前」市場拡大に向けて、サービス強化を図る。



「テガラみる」を非接触マネジメント ツールとしても活用



従業員の定着/離職防止を支援するサービス「テガラみる」。
同サービスの従業員のコンディション把握のスタンプ、メッセージコミュニケーションは、**テレワーク環境において、非対面/非接触でマネジメントする際に活用されるツール**としても注目されている。

With/After コロナにおける成長戦略

Ⅱ & Ⅲ. 環境への耐性の高い収益構造の構築

Ⅱ. 固定費の削減

- ✓ テレワークやIT活用を強化し、オフィススペースを最適化
- ✓ グループIT戦略を強化、調達に集中し、システムの統合を推進し、グループ全体における最適化を目指す

22年9月までに
固定費を

▶ **5%**削減

Ⅲ. 限界利益の最大化

- ✓ AI・RPAのさらなる活用によるRPO製造原価の低減
- ✓ メディア集客における効率を重視した広告宣伝費、ならびに印刷・流通費のモニタリング
- ✓ 20年4月に子会社化したシステム開発会社/株式会社GEEKの活用による開発の内製化

22年9月までに
限界利益率を

▶ **5%**改善

⑤ Appendix

社名	株式会社ツナググループ・ホールディングス
設立	2007年2月28日
資本金	517,071千円
所在地	東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル7F
代表者	代表取締役社長 米田 光宏
従業員数	638名/グループ合計 (2020年3月31日現在) ※正社員・契約社員
上場市場	東京証券取引所 市場第一部/証券コード6551

代表取締役社長 よねだ みつひろ 米田 光宏



1969年生

大阪府出身

1993年

株式会社リクルートフロムエー
(現株式会社リクルートジョブズ)入社
営業、商品企画、営業企画などを担当

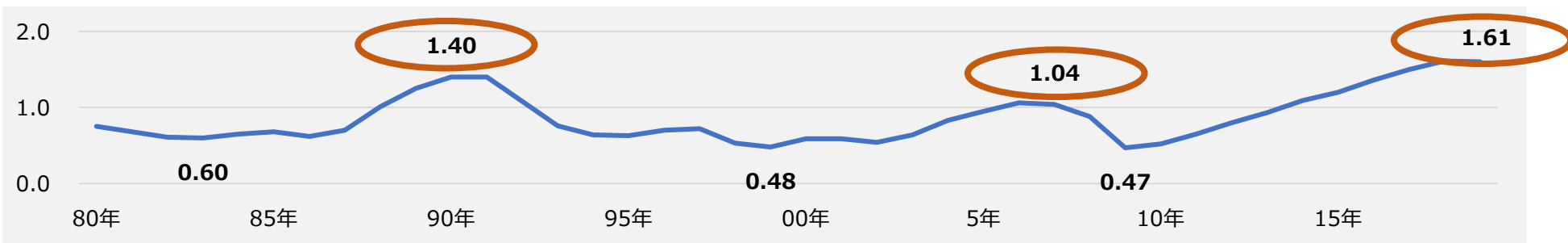
2003年

株式会社リクルート
(現株式会社リクルートホールディングス)出向
マーケティング業務などを経て
アルバイト・パート領域の事業企画責任者

2007年

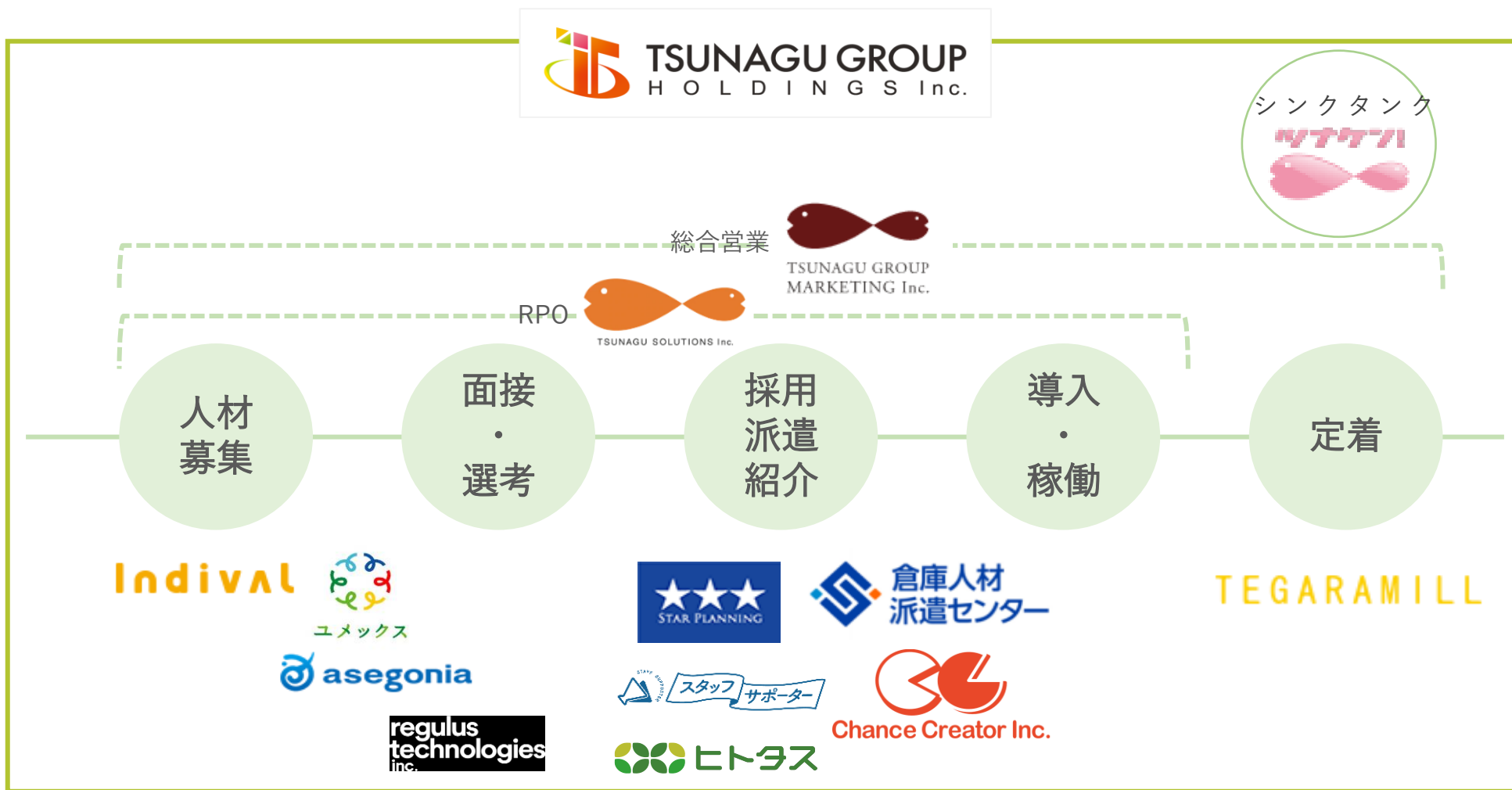
株式会社ツナグ・ソリューションズ設立

有効求人倍率推移



採用市場におけるインフラ企業を目指す

主力のRPOサービスを通じて情報を集約、あらゆるニーズに対応する。



- 2007年2月 設立
- 2007年3月 創業「RPOサービス開始」
- 2008年10月 関西支社開設
- 2008年11月 東北支社開設（CRMセンター）
- 2013年11月 株式会社テガラミルを子会社化
- 2015年3月 株式会社インディバルの全発行株式をヤフー株式会社より取得
- 2015年4月 株式会社チャンスクリエイター設立
- 2016年8月 株式会社スタッフサポーター設立
- 2017年6月 東証マザーズ市場に株式上場
- 2017年9月 株式会社asegoniaを子会社化
- 2017年10月 株式会社ライフホールディングスとの合併会社設立
- 2018年1月 株式会社スタープランニングを子会社化
- 2018年7月 東証市場第一部に市場変更
- 2018年10月 Regulus Technologies株式会社を子会社化
- 2019年4月 株式会社ツナググループ・ホールディングスに社名変更（純粋持株会社化）
- 2019年6月 ユメックス株式会社を子会社化
- 2019年10月 株式会社ツナググループ・マーケティング設立
- 2020年4月 株式会社GEEKを子会社化

免責事項および将来見通しに関する注意事項

免責事項

- この資料は皆様の参考に資するため、株式会社ツナググループ・ホールディングス(以下、「当社」という)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

IR関係のご質問・お問合せは、こちらまでお願い致します。

株式会社ツナググループ・ホールディングス／IR担当

TEL:03-3501-0279 (平日/10:00~19:00)

MAIL : ir@tghd.co.jp